



令和2年3月17日

報道関係各位

## 「令和元年度東京都広報コンクール」で、福生市の広報紙が 「広報紙部門」二席を受賞しました

東京都が主催する都内区市町村の広報を対象とした「令和元年度東京都広報コンクール」において、福生市の「広報ふっさ」が、「広報紙部門」で二席を受賞しました。

受賞した広報紙は、まちの少子高齢化に伴い増加する認知症介護のリアルな現状や認知症患者に寄り添おうとする地域の取り組みを特集した号です。

なお、同コンクールでの福生市の受賞は平成29年度以来3回目となります。

### ■「認知症」をテーマにした広報ふっさが全39団体の中から二席を受賞

今回受賞した広報紙、「広報ふっさ令和元年11月15日号」は、全戸配布を目的に定期的に発行する「広報紙部門」での表彰となり、市内の認知症に関する状況や取り組みを紹介しています。

また、一面の写真を飾ったのは、市内在住で、長年認知症を患う妻の介護を続けてきた、田中梅夫氏です。同号では、田中氏が体験した認知症介護談を始め、医療従事者や地域活動代表者、教師、民間事業者など計10件以上の取材を行うことで、行政目線だけでなく、多角的な視点から認知症介護について捉えたことが評価され、全39団体の中から二席を受賞しました。

〈特集背景〉現在福生市では、人口における高齢化率が25%以上を占める超高齢社会を迎えており、まちの高齢化に伴い、認知症による介護保険申請件数が増加しています。

今後、認知症患者数の増加が懸念される一方で、地域全体で認知症とどのように向き合っていくべきかを考えてもらう「きっかけ」として本特集を企画しました。

〈構成〉本特集は4段構成で論旨を展開しています。

- ① まちの現状と認知症について理解を深める
- ② 認知症介護経験者による介護の苦悩
- ③ 認知症介護者のための地域の取り組み
- ④ 認知症介護経験者による振り返り・気づき

受賞作品の掲載号は、福生市のホームページでPDF版としても公開しています。



【問合せ】秘書広報課広報広聴係 ☎042-551-1529

▲福生市ホームページ



広報ふっさ令和元年11月15日号